DISK SYSTEM
ファミリー コンピュータ ディスク システム

TKS-FC0

ファミリーコンポーザー



東京書籍

ディスクカードを書き換えたら
シールもきれいにはりかえよう!

1

まずはじめに，ディスクカードについている古いシールをきれいにはがしましょう。重ねてシールをはると故障の原因になります。

2

古いシールをはがしたら，別についているディスクカード用シールのSIDE AとSIDE Bをよく確かめて，決められた位置にきちんとはりましょう。

3

シールがずれたり，はがれやすくなっていないか，もう一度確かめてください。特にシールの四隅はていねいに押えてください。



ファミリーコンポーザー

目次

ディスクカードのセット

●まず，ファミコン本体とRAMアダプタ，ディスクシステムを正しく接続して，本体のPOWERをONにします。右のようなタイトル画面が出たら，ディスクカードをSIDEAを上にしてセットします。もし画面がちゃんと出ないときは，接続をよく確かめて，もう一度最初からやり直してください。



●"NOW LOADING" という表示が画面中央に出たあと，しばらくすると右の画面が出ます。そして，タイトル画面が出れば，OK!! もしも，この2つの画面が出ないで，"ビービーッ"と音がしたら，異状が起きた合図です。そのときはディスクドライブの赤ランプが消えてから，ディスクカードを取り出し，30ページを見て原因を調べて，もう一度やり直してみましょう。





作曲講座★初級編★リアルタイム入力モード

(リアルタイム入力モードで作曲してみよう！)

とにかく簡単に，オリジナルサウンドを作曲できちゃうのが"リアルタイム入力モード"。ここで「ファミリーコンポーザー」の基本操作も覚えてしまいましょう！

(コンポーザー画面への切りかえ)

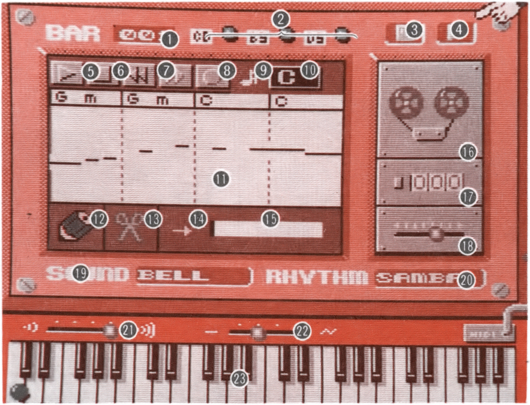


右のタイトル画面のメニューから，1.COMPOSERを選びます。✚ボタンの上下で ☜ を動かし，(スタート) を押すと，"Bメンヲ　セット　シテクダサイ" と表示されるので，ディスクカードを取り出し，SIDE B を上にしてセットします。画面は，"シバラク　オマチクダサイ"と表示された後，コンポーザー画面に切りかわります。

注意

ソフトを起動後，メニュー画面のままにしておくと，自動的にデモ演奏が始まるので，リセットボタンを押して，メニュー画面にもどしてください。

（コンポーザー画面）



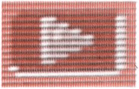
コンポーザー画面で，各スイッチのON/OFFや設定の変更をするためには，✚ボタンで☜を移動してⒶまたはⒷボタンを押します。

❶小節カウンター（➡22ページ）
❷伴奏パートスイッチ（➡13ページ）
❸メニュースイッチ（➡22ページ）…メニュー画面への切りかえスイッチ
❹リズムスイッチ（➡8ページ）…リズム画面への切りかえスイッチ
❺再生ボタン（➡11ページ）
❻ストップボタン（➡11ページ）
❼早送り／巻戻しボタン（➡10ページ）
❽レコーディングボタン（➡9ページ）
❾音長スイッチ（➡17ページ）
❿音名表示盤（➡22ページ）
⓫メロディーグラフ（➡15ページ）
⓬グラフ入力スイッチ（➡15ページ）
⓭コピースイッチ（➡19ページ）
⓮スケールスイッチ（➡18ページ）
⓯現在位置表示盤（➡22ページ）
⓰テープレコーダー（➡22ページ）…五線譜表示盤に切りかえることができる。
⓱テープカウンター（➡10ページ）
⓲テンポ調整スイッチ（➡13ページ）
⓳サウンド表示（➡14ページ）
⓴リズム表示（➡14ページ）
㉑音量調整スイッチ（➡13ページ）
㉒ビブラート調整スイッチ（➡13ページ）
㉓キーボード…作曲・再生中の音を●で表示。

(伴奏のリズムを選ぼう！)

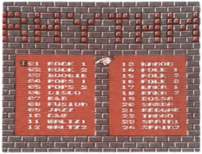
〝リアルタイム入力モード〟で作曲をするには，まず，伴奏となるリズムの種類を選びます。

☜をリズムスイッチに動かし，Ⓐボタンを押すと，画面がスクロールし，〝リズム画面〟が表示されます。



リズムスイッチ

この画面で伴奏のリズムを選ぶことができます。✚ボタンで好きなリズムに☜を動かし，Ⓐボタンを押すと，＊マークが移動し，選んだリズムが演奏されます。リズムが決まったら，(セレクト)を押すと，コンポーザー画面にもどります。



リズム画面

このリズム画面でリズムを設定すると，リズムごとに予め決められた伴奏のコード進行とメロディーの音階(スケール)がセットされ，絶対に音がはずれずに作曲できるようになります。スケールやコードの設定を変えずにリズムを変える方法は14ページを見て下さい。

〈リアルタイム入力モードでの作曲〉

☜をレコーディングボタンに移動して，Ⓐボタンを押すと，伴奏が始まります。これに合わせてメロディーを作曲してみましょう。

メロディーの作曲は，Ⓐボタンと✚ボタンを操作して，メロディーを演奏することによって行います。メロディーを演奏すると，メロディーグラフにグラフが表示され，キーボード上の●が動きます。

演奏方法

- ●Ⓐボタン………押すと音が鳴ります。
- ●✚の左右………右は高音，左は低音へ，連続的に音程が変化します。
- ●✚の上下………１回押すごとに，上は高音，下は低音に，音程が１つずつ動きます。

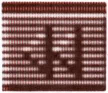
作曲を終わらせるには，（スタート）ボタンを押してください。伴奏が止まり，グラフの表示は，作曲を始めた小節にもどりましたね。

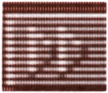
(曲のサーチと再生)

では，いま作曲した曲を再生してみることにしましょう。

再生は，メロディーグラフに表示されている小節から始めることができます。ここで，曲のある部分を呼び出す，サーチをしてみましょう。

サーチは，早送りボタンまたは巻戻しボタンに ☜ を移動し，Ⓐ，Ⓑボタンで行います。


巻戻しボタン


早送りボタン

サーチ方法

- Ⓐボタン（低速サーチ）
  16分音符単位でサーチをする。
- Ⓑボタン（中速サーチ）
  2分音符単位でサーチをする。
- Ⓐボタン＋Ⓑボタン（高速サーチ）
  8小節単位でサーチをする。

その他に，一気に曲の先頭をサーチする方法としては，テープカウンターへ ☜ を移動し，Ⓐボタンを押す，という方法もあります。

再生にも次の2種類のやり方があります。

再生方法

①再生ボタン(▷)に ☜ を移動し，Ⓐまたは Ⓑボタンで再生開始。ストップボタン(□)で再生ストップ。
再生中，楽譜は自動スクロールし，演奏されているところが表示され，再生をストップすると楽譜表示は，ストップしたところで止まる。

②(スタート)ボタンで再生が開始され，もう一度，(スタート)ボタンで再生ストップ。再生中，楽譜スクロールは行われない。

※再生ボタンによる再生は，作曲した曲全体の調整に，(スタート)ボタンによる再生は，作曲中の部分再生(モニター)のときに使うと便利です。

(メロディーの修正)

作曲したメロディーは，もう一度リアルタイム入力モードをスタートすることで，メロディーグラフに表示された小節から修正することができます。

①全てのメロディーを消したい場合
(セレクト)ボタン＋Ⓑボタンを同時に押してください。



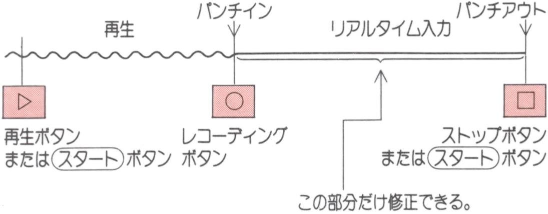
すると画面に右のように表示されるので，メロディーを消すときにはⒶボタンを，消さないときには✚ボタンで●を“NO”に移動してⒶボタンを押します。

②曲の途中からメロディーを修正するとき

メロディーを修正したい小節をサーチにより呼び出し，レコーディングスイッチに☜を合わせてⒶボタンを押します。

③パンチイン・パンチアウト

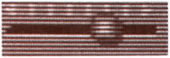
次のようにして，すでに作曲したメロディーの一部分だけを修正することができます。



(テンポ・音量・ビブラートの変更)

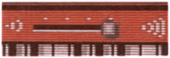
テンポ・音量・ビブラートの変更は，それぞれの調整スイッチに ☜ を移動し，Ⓐボタンでスイッチを右へ，Ⓑボタンでスイッチを左へ動かして調整します。

テンポ調整スイッチ



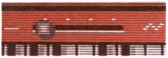
遅←　→早

音量調整スイッチ



小←　→大

ビブラート調整スイッチ



弱←　→強

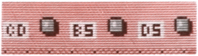
これらの変更は，再生中にもできるので，作曲した曲を再生演奏させながら，各スイッチを動かしてみましょう。

(伴奏パートのON／OFF)

レコーディング中，または再生中に演奏される伴奏音の種類は，伴奏パートのON／OFFスイッチで調整することができます。スイッチのON／OFFは，各スイッチに ☜ を移動し，Ⓐボタンで行います。●が青のときはON，黒のときはOFFの状態です。

例えば，伴奏パートスイッチを，左から黒 黒 青，つまりドラムだけONにして，曲を再生してみましょう。伴奏がドラム音だけになりましたね。

伴奏パートスイッチ



コード　ベース　ドラム

(メロディー音色の変更)

「ファミリーコンポーザー」では，メロディーの音色が14種類用意されています。音色の変更は，サウンド表示(SOUND)に を移動し，Ⓐ・Ⓑボタンで行います。

Ⓑ	1.PIANO1—ピアノ1	8.BRASS—ブラス
ボタン	2.PIANO2—ピアノ2	9.STRING—ストリングス
↑	3.ORGAN—オルガン	9.BELL—ベル
	4.P.ORG—パイプオルガン	11.BANJO—バンジョー
↓	5.HRPSC—ハープシコード	12.HARMON—ハーモニカ
Ⓐ	6.OBOE—オーボエ	13.ACORD—アコーディオン
ボタン	7.CLARIN—クラリネット	14.FUE—笛

(伴奏のリズムの変更)

コンポーザー画面でリズムを変更すると，伴奏のコードやスケールの設定を全く変えずに，１つの曲をいろいろなリズムで楽しむことができます。リズムの変更はリズム表示に を移動し，Ⓐ・Ⓑボタンで行います。

Ⓑ	1.ROCK1—ロック1	9.JAZZ—ジャズ	17.ENKA1—演歌1
ボタン	2.ROCK2—ロック2	10.C&W—カントリー&ウェスタン	18.ENKA2—演歌2
↑	3.BOGGIE—ブギウギ	11.WALTZ1—ワルツ1	19.BOSSA—ボサノバ
	4.POPS1—ポップス1	12.WALTZ2—ワルツ2	20.SAMBA—サンバ
	5.POPS2—ポップス2	13.KANON—カノン	21.REGGAE—レゲエ
↑	6.DISCO—ディスコ	14.FOLK1—フォーク1	22.TANGO—タンゴ
Ⓐ	7.R&B—リズム&ブルース	15.FOLK2—フォーク2	23.SPAIN1—スパニッシュ1
ボタン	8.FUSION—フュージョン	16.FOLK3—フォーク3	24.SPAIN2—スパニッシュ2

作曲講座★中級編★　グラフ入力モード

(グラフ入力のテクニックをマスターしよう!!)

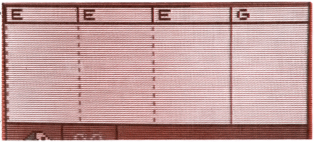
基本操作がわかったところで，１音ずつ細かい部分を指定しながら作曲する方法，〝グラフ入力モード〟をマスターしましょう。

(グラフ入力モード)

グラフ入力モードでの作曲は，メロディーグラフに１音ずつメロディーを書いていくやり方で行います。グラフ入力モードへの切りかえは，エンピツのマークのグラフ入力スイッチに を移動し，Ⓐボタンを押して行います。すると，メロディーグラフにエンピツが表示されグラフ入力モードに切りかわりましたね。このエンピツでグラフを書いていきましょう。

コード欄→

メロディーグラフ



高音
↑
↓
低音

４オクターブ

点線は１拍の区切り

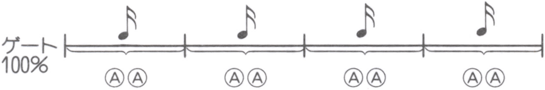
実線は１小節の区切り

(グラフの書き方)

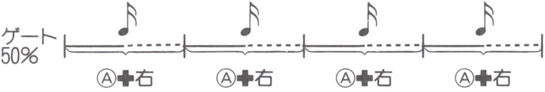
エンピツは，✚ボタンで移動し，Ⓐボタンで音が書け，Ⓑボタンで音を消すことができます。Ⓐボタン，Ⓑボタンを押すごとに書いたり消したりする音の長さは，音長スイッチで設定された長さになりますが，Ⓐボタンで音を書く場合は，１回押すと設定した音長の50%だけ音が出て，２回押すと100%音が出ます。(ゲート機能)

書き方

音長スイッチが　の場合



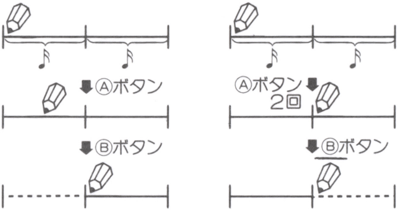
♪が４音つながっているので同じ高さの音であれば，♩１音と同じ様に聞こえる。



同じ高さの音で，１音ずつつながって聞こえないようにするにはゲート50%にする。このゲート機能をうまく使うと，能率的にメロディーを書くことができます。

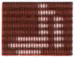
消し方

音長スイッチが♬の場合



(音長スイッチの設定)

長い音を書いたり消したりするのに，いつも16分音符単位でやっていては能率が悪いので，音長スイッチで音の長さの設定を変えてみましょう。(セレクト)ボタンを押すとグラフ入力モードからぬけて，☜が出るので，☜を音長スイッチに移動しⒶまたはⒷボタンで切りかえていきます。音長は5種類に切りかえることができます。



音長スイッチ

Ⓑボタン←　　→Ⓐボタン



16分音符　8分音符　4分音符　2分音符　全音符

〈グラフのスクロール〉

メロディーグラフをスクロールするには，グラフの右端または左端にエンピツを移動し，✚ボタンの右または左を押します。高速スクロールさせる場合には，✚ボタン＋Ⓑボタンで行います。

〈スケールスイッチ〉

スケールスイッチを利用すると，作曲がグンと楽になります。スケールスイッチに ☜ を移動し，ⒶまたはⒷボタンを押すと４段階に切りかえることができます。

①→：リズムに合ったスケールの音しか入力できない。✚の上下＋Ⓐボタンで自由にメロディーを書いても，絶対に音程がはずれない。

②↗：Ⓐボタンを押し続けると，その間，リズムに合ったスケール上を順に上っていくメロディーが自動的に書ける。

③↘：Ⓐボタンを押し続けている間，リズムに合ったスケール上を順に下っていくメロディーが書ける。

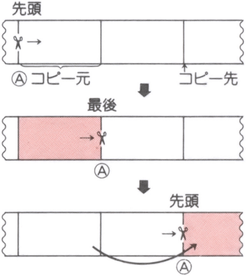
④$\overset{C}{\rightarrow}$：設定したリズムに関係なく全ての音程が入力可能。ただし，エンピツの色が赤のときは，リズムに合う音程で，緑のときは合わない音程。

(グラフのコピー)

曲のくり返しの部分を作ったり，グラフの一部の位置をずらしたい時には，コピー機能を利用します。☜をハサミのマークのコピースイッチに移動し，Ⓐボタンを押すと，グラフ上にハサミのマークが出ます。ハサミは✚ボタンで動かしますが，上下は3段階に動き，ハサミの位置によってコピーする内容がちがいます。(右の表参照)

- 上：コード欄のみ
- 中：コード+メロディーグラフ
- 下：メロディーグラフのみ

まずコピーする内容を上の3つから選んだら，次にコピー元の先頭と最後，それぞれの位置へハサミを移動しⒶボタンを押します。するとコピー元がアミ目でおおわれるので，最後にコピー先の先頭へハサミを移動し，Ⓐボタンを押します。これでコピー完了です。



コピー機能を中止したい時は(セレクト)ボタンを押してください。

作曲講座★上級編★　コード入力モード

(上級テクニックに挑戦!!)

メロディーの入力方法をマスターしたら，いよいよ伴奏も自分で作ってしまうテクニックに挑戦！伴奏のコード進行を自分の好きなように入力できれば，大好きな曲を演奏することも，プロ顔負けの曲を作ることも可能!!

(コード入力モード)

メロディーグラフの上段のコード欄の左端へ☜を移動し，Ⓐボタンを押すと，コード入力モードに切りかわり，グラフ部分にコードパレットが表示されます。

●コードパレット

C	C#	D	D#	E	F	F#
G	G#	A	A#	B	C▲	STP
M	m	7	M7	dim	SUS4	!
M−	m−	*	×	Lop	◁	▷

- ピンク：ルート
- 白：タイプ
- 薄いピンク：特殊語号
- 灰色：移動キー

コードの設定は，ルート＋タイプで行い，１拍ごとに指定します。さらにコード欄には，特殊記号を指定することもできます。

(コード設定方法)

まず，☜をコードを設定したい拍に移動します。Ⓑボタン＋✚ボタンの左右で移動します。次に，コードパレット上の●を✚ボタンで移動し，Ⓐボタンを押すと，☜のある拍にコードが設定されます。

●ルート …… C～C▲（C▲はCの１オクターブ山）
●タイプ（…… 初期設定はメジャーで，無表示）

M	：メジャー	M７	：メジャーセブンス
m	：マイナー	dim	：ディミニッシュ
７	：セブンス	SUS4	：サスペンデッド４

●特殊記号

STP：ストップ。曲の終了。
LOP：ループ。曲の先頭からLOPを設定した直前の拍までをくり返し演奏。
＊：伴奏がドラムのみ。
×：伴奏なし。
！：ブレーク。拍の頭に伴奏がジャン！と鳴る。
M－：メジャーで伴奏が１拍分ジャーンとのびる。
m－：マイナーで伴奏が１拍分ジャーンとのびる。

コード入力モードを終わるには(セレクト)ボタンを押します。

作曲に役立つ表示や機能

〈コンポーザー画面の表示盤〉

- 小節カウンター

  作曲・再生中の小節が何小節目なのかを表示。
- テープカウンター

  曲の最初から数えて何拍目かを表示。
- 五線譜表示盤

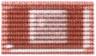
  テープレコーダーに ☜ を合わせⒶボタンを押すと五線譜に切りかわる。作曲・再生中の音の音程を表示。再びⒶボタンを押すとテープレコーダーにもどる。
- 音名表示盤

  作曲・再生中の音の音名をアルファベットで表示。
- 現在位置表示盤

  作曲・再生中の拍が曲全体のどのあたりなのかを表示。

〈メニュー画面への切りかえ〉

作曲を終了する時は，メニュースイッチに ☜ を移動し，Ⓐボタンを押すと，画面は，メニュー画面へ切りかわります。

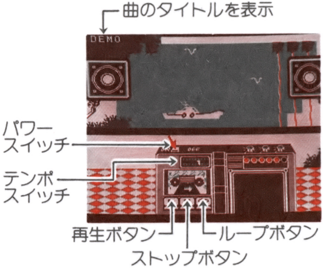


メニュースイッチ

♫ グラフィック・プレイヤーで楽しもう！

（キミが作曲したサウンドがシーサイドカフェに流れる!!）

メニュー画面で，2.GRAPHIC PLAYERを選ぶと，画面は海辺のカフェテラス「マリンスクエア」に切りかわります。曲の再生・演奏のストップ・ループ再生は，画面上のラジカセの各スイッチに，✚ボタンで↘を移動し，Ⓐボタンを押して行います。再生時のテンポの調整は，テンポスイッチを✚ボタンの左右で動かして行います。



（グラフィックプレイヤーモードの終了）

ラジカセのパワースイッチに↘を移動し，Ⓐボタンを押すとしばらくしてメニュー画面にもどります。

曲のセーブ／ロード

(曲のセーブ)

せっかく苦労して作ったオリジナル・サウンドだから，しっかりとディスクカードにセーブしておきましょう！

作曲ができたら，メニュー画面で，4.SAVEを選んで，曲をセーブしましょう。ディスクには，最大6曲までセーブすることができます。1～6の空いている番号または，消してもよい番号に✚ボタンで☜を移動し，Ⓐボタンを押して，セーブする番号を決定します。すると，選ばれた番号に＊が表示されるので，セーブする曲名(8文字以内)を入力します。曲名の入力は，1文字ずつ画面下の文字の中から✚ボタンで選び，Ⓐボタンで入力していきます。曲名入力時に☜を左右に動かすときには，〝モドル〟，〝ススム〟、曲名入力を中止したいときは〝トリヤメ〟を選んでください。



曲名を入れ終わったら，〝セーブ〟を選ぶと，曲のデータがディスクに記録されます。

(セーブの終了)

メニュー画面へもどりはいときは，(セレクト)ボタンを押してください。

(曲のロード)

ディスクカードにセーブしておいたオリジナル・サウンドは，いつでもロードして再生して楽しめます。

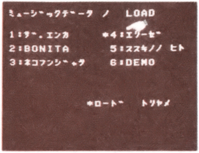
セーブした曲のロードは，メニュー画面で3.LOADを選び，ロード画面に切りかえて行います。

1～6の中でロードしたい曲の番号に✚ボタンで☜を動かし，Ⓐボタンを押して曲を決定します。すると選ばれた番号に＊が表示されるので〝ロード〟を選びます。

まちがえて曲を選んだ時には〝トリヤメ〟を選べば，＊は消えます。

(ロードの終了)

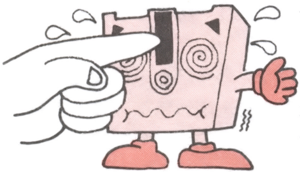
メニュー画面にもどるには，(セレクト)ボタンを押してください。



これだけは覚えてほしい注意事項

ディスクカードは，カセットよりもデリケート。注意をよく読んで楽しんでネ！

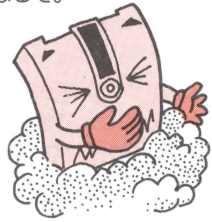
ディスクカードは大切に取り扱おう！

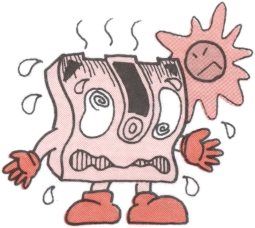


ディスクカードの窓から見える茶色の磁気フィルムの部分には，ぜったいに指などで触れないでね！　汚したり，傷つけたりすると，ゲームができなくなるぞ。

ホコリが大きらい！

ディスクカードは，ゴミゴミしたホコリっぽい所は，大きらい！　ホコリは，ディスクカードの大敵なんだ。いつも，プラスチックケースの中にしまうようにしよう。

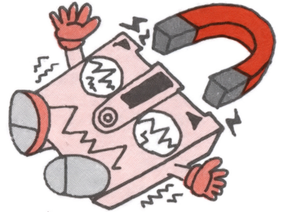




暑さによわい！

ディスクカードは湿気や暑さが苦手。涼しくて風通しのよい場所に保管しよう。直射日光にもあたらないようにしよう。暑い夏はとくに注意してね。

磁石にヨワーイ!?



磁石を近づけると，プログラムや君が作曲した曲のゲータがいっしゅんのうちに消えちゃうんだ。ぜったいに磁石の近くに置かないようにね。テレビやラジオにも磁力があるから，近づけないでね。

ディスクドライブの赤ランプがついている時は，EJECTボタンを押したり，本体の電源やRESETスイッチに手を触れちゃダメ。大きな衝激も与えないように注意しようね。

ディスクシステムが正常に作動しなくなった時には…

ディスクシステムが正常に作動しなくなった時には，画面に異常を知らせるエラーメッセージが表示されます。下の表を参考にして原因を調べてください。

エラーメッセージ	内容と対処方法
DISK SET ERR.01	ディスクカードが正しくセットされていません。
BATTERY ERR.02	ディスクドライブの電圧が規定値以下です。乾電池を新しいものに交換してください。
ERR.03	ディスクカードのツメが折れています。他のカードを使うか，ツメの所にテープをはってください。
ERR.04	違ったメーカーのディスクがセットされています。
ERR.05	違ったゲーム名のディスクがセットされています。
ERR.06	違ったバージョンのディスクがセットされています。
A, B SIDE ERR.07	ディスクカードの表と裏が逆にセットされています。
ERR.08	違った順番のディスクがセットされています。
ERR.20～	ディスクカードを買ったお店か，発売元へ相談してください。

「ファミリーコンポーザー大賞」作曲コンテスト募集要項

■応募受付期間

1987年12月1日〜1988年1月31日（必着のこと）

■応募資格

①「ファミリーコンポーザー」で作曲，再生した楽曲であること。
②未発表のオリジナル曲で，5分以内の長さであること。

■参加部門

●Aクラス：小学生以下　●Bクラス：中学生　●Cクラス：高校生以上

■応募方法

カセットテープのA面の先頭から作品を録音し，次頁の「応募用カセット・ラベル」を貼り，必要事項をもれなく記入した「応募用紙」を同封のうえ，事務局まで郵送してください。

■応募先

〒113 東京都文京区本駒込6－14－9　東書第2ビル
「ファミリーコンポーザー大賞」事務局　募集係

■インフォメーションダイヤル　TEL03-942-4145(月〜金13:00〜17:00)

■入選各賞

★ファミリーコンポーザー大賞（1作品）（奨励金10万円，他）
★部門賞グランプリ　（各クラス1作品）（記念品，他）
★部門賞準グランプリ（〃）（〃）　★主催／協力／協賛各社賞
◎優秀作品はアルファレコード(GMOレーベル)よりレコード化を予定。

■結果発表

最終審査の結果は1988年3月発売の㊕ファミコン，「月刊宝島」等の雑誌で発表します。なお，進行状況，審査経過は随時，各雑誌やテレホンサービス（TEL03-223-3000）などでリポートしていきます。

主催●東京書籍　後援●㊕ファミコン　協力●月刊宝島／宝島増刊「バンドやろうぜ」／アルファレコード（GMOレーベル）

応募用カセット・ラベル

曲名 ______________________

氏名 ______________________

※ここには何も記入しないでください。

NO. ______________________

※この部分を切り抜いて貼り付けてください

「ファミリーコンポーザー大賞」作曲コンテスト応募用紙

曲 名		部門	A・B・C	※ここには記入しないでください No.
フリガナ 氏 名			性別	男・女
職 業 (学校名・学年)			年齢	才
住 所	〒 ☎			
保護者 氏 名			年齢	才

作品に対するコメント	「ファミリーコンポーザー」購入方法
	月 日 新規・書換 店名



東京書籍

発行　東京書籍株式会社
東京都文京区本駒込6-14-9
〒113　☎03-942-4111